

特別養護老人ホーム 南山の郷 おしらせ新聞 第78号

# さととやま



ふれあいまつりが6月の開催になり同じく6月に行っていた運動会を秋のこの時期に行う事にしました。

毎年、少しずつ備品が増えて豪華になっていく南山の郷の運動会。今年は綱引きの綱が手に入り、プログラムに綱引きが加わりました。複数の職員での綱引きや力自慢の男性職員による一騎打ちなど、皆様の応援も白熱していました。

ご利用者の方にも玉入れや大玉ころがし、パン食い競走に参加して頂きスポーツの秋を楽しんだ一日となりました。

また、芸術の秋ということで以前から進めていた作品展の作品が完成し無事作品展に出展できました。19日までナゴヤドーム近くの市民ギャラリー矢田で開かれています。ぜひお立ち寄りください。



# 皆様の声を受けて

昨年のユーザー評価による皆様からのコメントの中で、「私たちのように面会できる家族がいれば良いが、いない方の場合、外部からは何も分かりません」という意見がありました。この仕事をする上で、最も責任を感じさせられる言葉です。

認知症であったり、言葉を発することに障がいがあったりすれば、その方の代弁をすることは非常に難しくなります。南山の郷では、身体拘束解消委員会というものを定期開催しています。その委員会では、お身体への拘束はもちろんしないこと、もう一つ、心の拘束もしないために意見交換をしています。先日の委員会で一人の職員がこんなことを言ってくれました。「その方の家族の前でもできるケアをするよう心がけたい。誰もが、誰かの親であり子どもだと意識すれば良いケアになると思う」

シンプルですが、とてもわかりやすい意見だと思いました。なかなか理想通りにはいかないとは思いますが、この言葉を機会があるごとに皆で振り返って行きたいと思います。

## 10月の行事



今年も人気行事「わんにゃん広場」に参加しに平和公園の名古屋市動物愛護センターまで出掛けました。

ドッグショーを見たり、小型犬や子猫を抱かせてもらったり、犬派も猫派も仲良く楽しまれていました。